

国民健康保険料の引き下げなど改善を求める陳情

熊本市長 大西 一史 様

(陳情趣旨)

熊本市の国民健康保険料は、4 人家族（夫婦・子ども 2 人）・所得 200 万円で年間 42 万円の保険料となり、政令市の中で一番高い保険料負担のため、多くの市民が「払いたくとも払えない」と悲鳴をあげています。収納率を引き上げるために、預貯金・生命保険の差し押さえなどのペナルティを強化していますが、滞納世帯は 30% を超え、全国平均の倍にもなっています。

そもそも、国民健康保険は、無職者、年金生活者、非正規労働者などの低所得者が多数加入し、熊本市の国保加入者の 8 割は所得 200 万円以下の世帯です。ところが 1 人当たりの保険料は、中小企業の労働者が加入する協会けんぽの 1.3 倍、大企業の労働者が加入する組合けんぽの 1.7 倍に上ります。

国保料には、家族の人数に応じて負担が増える「均等割」があり、子育て世帯などでは、国保と協会けんぽの保険料の格差は 2 倍にも広がります。

こうした問題を解決するために、全国知事会等は、「1 兆円の公費投入」など、国の財政支援により、国保料を協会けんぽ並みに引き下げを求めています。国と自治体が協力して公費を増やし高すぎる国保料を引下げは、熊本市民のくらしと健康を守るとともに、協会けんぽなど他の医療保険制度の安定的な運営のためにも不可欠です。

また、仙台市や県下では芦北町などが、保険料の均等割の軽減を行っています。多子世帯等の過度な保険料負担を軽減するために、熊本市でもぜひ実施すべきです。

以上の趣旨から、以下の事項について陳情します。

(陳情事項)

- 1、 大西市長の下で減らされている一般会計繰り入れを増やし、国保料を引き下げてください。
- 2、 国保料の 18 歳未満までの均等割免除や、低所得者の減免制度を拡充してください。
- 3、 国保料を滞納した市民への資格証明書の発行や機械的な差し押さえをやめ、滞納者の生活実態を良く聞いて親身に納付相談を行ってください。
- 4、 国に対し、全国知事会など地方団体も要求してきた公費投入を 1 兆円増額し、協会けんぽの保険料並みに引き下げをを求める意見書を提出してください。

氏 名	住 所